



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                  |                                                                                   |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| Title            | 北海道大学サステナビリティ・ウィーク 2014 : 年次記録 : 持続可能な開発のための教育                                    |
| Issue Date       | 2017-03                                                                           |
| Doc URL          | <a href="https://hdl.handle.net/2115/65290">https://hdl.handle.net/2115/65290</a> |
| Type             | report                                                                            |
| File Information | chapter-1.pdf,                                                                    |



## **1. サステナビリティ・ウィーク 2014 の概要**

## 本年の特徴

- ・開催テーマ : 持続可能な開発のための教育
- ・メイン期間 : 2014 年 10 月 25 日 (土) ～2014 年 11 月 9 日 (日)
- ・企画数 : 32 企画
- ・企画実施期間 : 2014 年 9 月 28 日 (日) ～2014 年 12 月 21 日 (日)
- ・参加者数 : 32,045 人
- ・特筆事項 :
  - 2005 年に北海道大学「持続可能な開発」国際戦略を策定し、「持続可能な開発」をテーマに掲げて各種の取り組みを行ってきた北海道大学は、同年に開始された国連「持続可能な開発のための教育 (ESD) の 10 年」キャンペーンが最終年を迎えることから、教育に焦点を当てて様々な角度から議論を行った。
  - 附属図書館による展示企画や北大映画館プロジェクト「CLARK THEATER」、市民向けの各種セミナーの開催によって参加者が 3 万人を超えた。これにより、本年を含め過去 8 年間の累計は、開催企画数 250、参加者数 15 万人を突破した。
  - 教育学研究院が主催する国際シンポジウムの 5 回目を全学的な企画へと拡大し、「ESD 国際シンポジウム・次世代の ESD 戦略」と題して開催したところ、主に東アジア地域から 165 人が参加した。
  - 文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択された「RJE3 プログラム」(East Russia-Japan Expert Education Program) の始動を記念し、「日露共同で行なう教育プログラム開発プログラム ～極東・北極圏における持続的発展を未来へつなぐ～」と題して国際シンポジウムを開催した。
  - サニテーションに従事する人材を育成する教育プログラムを作るため、ザンビア、ブルキナファソ、インドネシアから参加を得てワークショップを開催し、3 つの講義の e-Learning 教材を作成した。

## ❖ 総長あいさつ

138年前の創設以来、北海道大学にはフロンティア精神が息づいています。現在も、防災、貧困撲滅、気候変動など、耐えることのない人類の課題に取り組んでいます。

時代の開拓者である北海道大学は、持続可能な社会の実現に向けて叡智を結集するために、2007年から毎年サステナビリティ・ウィークを開催し、9月から12月にかけて、シンポジウムやワークショップなど議論の場を数多く提供しています。

今年は、国連のキャンペーン「持続可能な開発のための教育の10年」が最終年を迎えるのに合わせ、サステナビリティ・ウィーク2014も教育に焦点を当てます。世界から研究者や学生、市民が、研究成果や多様な経験を持ち寄り、これまでの教育そしてこれからの教育の在り方について共に学ぶ最良の機会となるよう願っています。



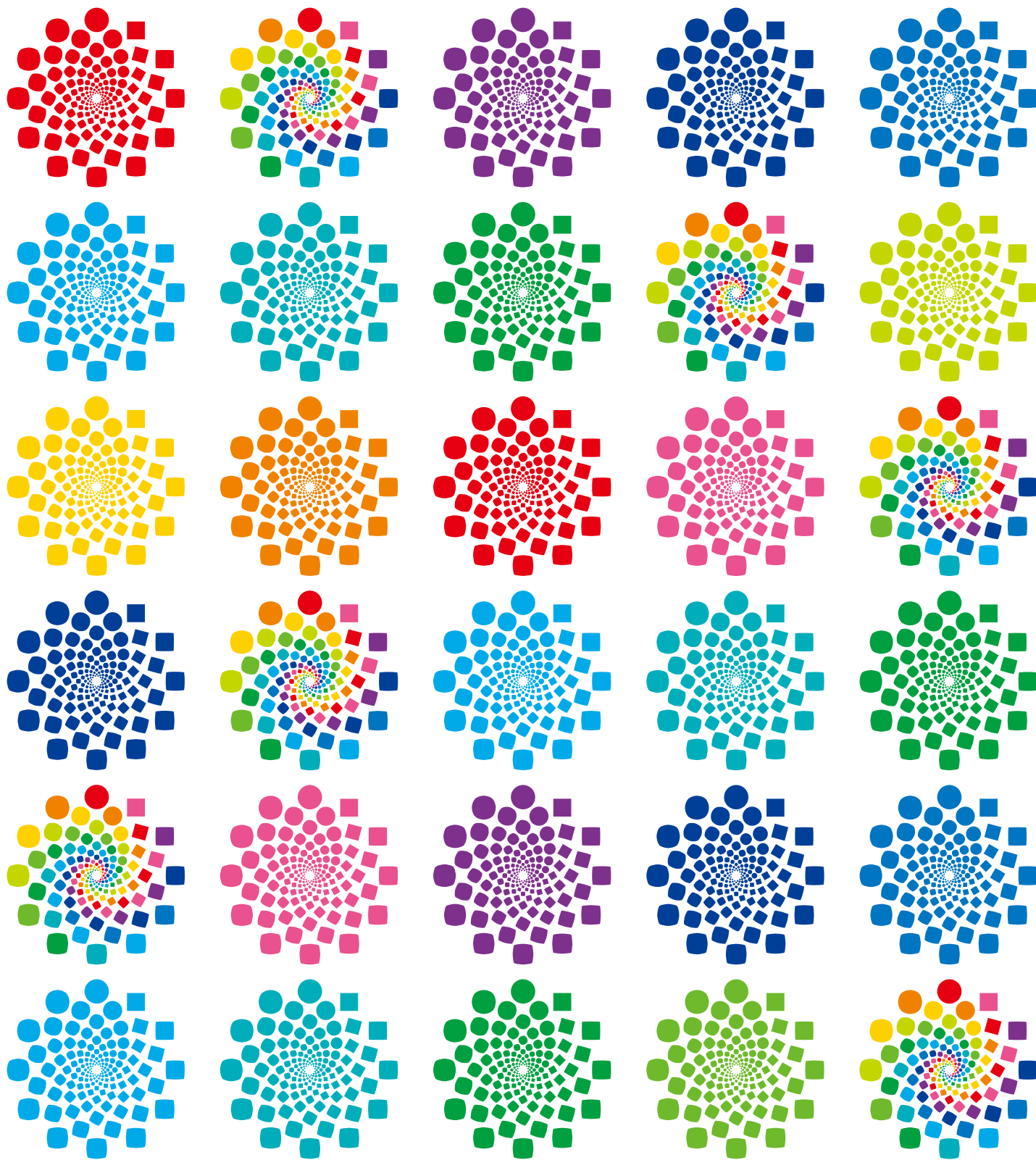
北海道大学総長 山口 佳三

北海道大学 総長 山口 佳三



# 北海道大学サステナビリティ・ウィーク 2014

## 持続可能な開発のための教育



北海道大学

フューチャー  
国立大学2014

138年前の創設以来、北海道大学にはフロンティア精神が息づいています。現在も、防災、貧困撲滅、気候変動など、絶えることのない人類の課題に取り組んでいます。時代の開拓者である北海道大学は、持続可能な社会の実現に向けて叡智を結集するために、2007年から毎年サステナビリティ・ウィークを開催し、9月から12月にかけて、シンポジウムやワークショップなど議論の場を数多く提供しています。

今年は、国連のキャンペーン「持続可能な開発のための教育の10年」が最終年を迎えるのに合わせ、サステナビリティ・ウィーク2014も教育に焦点を当てます。世界から研究者や学生、市民が、研究成果や多様な経験を持ち寄り、これまでの教育そしてこれからの教育の在り方について共に学ぶ最良の機会となるよう願っています。



北海道大学 総長  
山口 佳三

1 10月25日(土) 13:00 ~ 18:30 

サステナビリティ・ウィーク2014 特別企画 第5回ESD国際シンポジウム

## 次世代のESD戦略

気候変動、急激な自然環境の劣化、多発する自然災害、感染症の拡大、消費型経済システム加速など、人類の抱える課題が複雑化・多様化する中、世界は教育に希望を託し、国連は「持続可能な開発のための教育の10年(DESDE)」キャンペーンを展開してきました。

教育は、次世代の経済、産業、社会の在り方を決めるものです。これまで、大学が知識を無秩序に細分化してきた結果が現代社会であるならば、未来を作るために必要なことは、他分野との知の統合化と、俯瞰したものの見方を備えた人物を育成することです。それは、課題を抱えた現場とのかかわりの中でこそ可能な教育です。

果たして大学は、自らが位置する地域の中で、DESDEキャンペーンに呼応した確かな教育を実践できたのか。10年を振り返り、主たる問題を検証すると共に、これからの大学教育の在り方について議論します。

言語：日本語・英語(同時通訳)

参加申込：必要(申込サイトにて受付)

詳細は中面ページをご覧ください

会場：学術交流会館

〈問い合わせ先〉

教育学研究院

TEL: 011-706-3965

E-mail: shomu@edu.hokudai.ac.jp

北海道大学

サステナビリティ・ウィーク事務局(国際本部内)

TEL: 011-706-8031

E-mail: sw1@oia.hokudai.ac.jp



基調講演

ESD10年の総括

マリオ タブカノン

Mario T. Tabucanon

国際連合大学高等研究所  
客員教授



主題講演1

ESDの将来展望

韓 龍震

Yong Jing Hahn

高麗大学校師範大学長



主題講演2

ESDの再構築

河口 明人

Akito Kawaguchi

北海道大学教育学研究院  
教授

### プログラム

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                 |                        |                             |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------------------------|-----------------------------|
| 13:00~ 会場:大講堂      | <p>開催挨拶 ..... 上田 一郎(北海道大学 副学長理事/SW2014実行委員長)</p> <p>開催趣旨説明 ..... 小内 透(北海道大学 教育学研究院長)</p> <p>基調講演 「ESD10年の総括」..... マリオ タブカノン(国際連合大学高等研究所 客員教授)</p> <p>主題講演1 「ESDの将来展望」..... 韓 龍震(高麗大学校師範大学長)</p> <p>主題講演2 「ESDの再構築」..... 河口 明人(北海道大学教育学研究院 教授)</p> |                                 |                        |                             |
| 16:00~             | 分科会1<br>ESD Campus Asiaの<br>成果と展望                                                                                                                                                                                                                 | 分科会2<br>北海道UNESCOスクール・<br>コロキウム | 分科会3<br>ESD<br>学生フォーラム | 分科会4<br>大学と地域社会が<br>協力するESD |
| 18:00-18:30 会場:大講堂 | 総 合 討 論                                                                                                                                                                                                                                           |                                 |                        |                             |



北海道大学  
サステナビリティ・ウィーク  
2014



## 持続可能な 開発のための教育

未来を切り開く教育や学び、コミュニケーションの  
あり方について共に考えます。

2

10月8日(水) 14:00~16:00 会場ID: I

### 専門家国際ネットワークを用いた サニテーション教育

**ア**フリカのサハラ砂漠以南では人口の69%、南アジアでは64%の人々が衛生的なトイレを持っておらず、これらの地域ではサニテーションに関わる人材が強く求められています。本セミナーはサニテーション人材育成コースの導入となる、現状の把握に関する講義を行い、参加者のフィードバックを受けて、今後の教材づくりに役立てます。



アジア・アフリカ地域の課題解決に貢献することを目指したJSPS「アジア・アフリカ学術基盤形成事業」の一環として開催されます。

① フロントティア応用科学研究棟 セミナールーム ② 英語(通訳なし) ③ 不要(直接会場へお越し下さい) ④ 北海道大学次世代都市代謝教育研究センター ⑤ 国際水環境学院(2iE), ザンビア大学水資源管理センター

⑥ お問い合わせ

工学研究院サニテーション工学研究室 船水尚行

TEL&Fax: 011-706-6270 mail: funamizu@eng.hokudai.ac.jp

3

10月8日(水) 18:30~19:30 会場ID: C

### STAND UP TAKE ACTION in Hokudai

**国**連のミレニアム開発目標達成のために「立ち上がる」世界的なキャンペーンの北大版です。今年は、農学部前にて地場生産物の即売を生産者が直接行う好評のイベント「北大マルシェ」を取り上げ、イベント関係者を招き、北海道の「食」や「農」、「サステナブルな未来」について参加者の皆様と一緒に考えます。



① 附属図書館本館メディアコート ② 日本語 ③ 不要(直接会場へお越し下さい) ④ 北海道大学附属図書館 / 国連寄託図書館 ⑤ 北大マルシェ

⑥ お問い合わせ

附属図書館 / 国連寄託図書館 城恭子

TEL: 011-706-2973 Fax: 011-746-4595 mail: ref@lib.hokudai.ac.jp

4

10月20日(月)~11月3日(月・祝) 会場ID: C

### 学術成果のオープンアクセスとHUSCAP

**H**USCAP(ハスカップ=北海道大学学術成果コレクション)では、本学のさまざまな学術成果を電子ファイルで保存し、広く世界で共有するためにウェブ上で無料公開しています。今回の展示では、誰もが学術成果を利用できるようにしようという「オープンアクセス運動」のご案内とともに、現在HUSCAPで公開されている研究をご紹介します。



HUSCAP  
URL: <http://eprints.lib.hokudai.ac.jp>

① 附属図書館正面玄関ホール ② 日本語 ③ 不要(直接会場へお越し下さい) ④ 北海道大学附属図書館

⑤ お問い合わせ

附属図書館学術システム課

TEL: 011-706-4741 mail: huscap@lib.hokudai.ac.jp

5

10月26日(日) 10:30~12:00 会場ID: A

### 障害をもつ大学生の就労を目指して

**2**014年2月に障害者権利条約への批准が叶いました。本企画は、大学で学び、社会で働いてきた障害のある人に、これまでの体験をお話いただきます。就労支援に携わる事業所や障害者雇用を実施している企業にも参加



いただき意見交換を行います。すべての人にとって、希望をもって学び働くことができるような社会をつくるために、教育や大学がどうあるべきか、ともに考えましょう。(午後からの分科会に参加を希望される方および情報保障が必要な方は、下記問合せ先まで申込をお願いいたします。)

① 学術交流会館 小講堂 ② 日本語(手話通訳・要約筆記あり) ③ 不要 ④ 北海道大学特別修学支援室 ⑤ 北海道障がい学生支援ネットワーク(仮称), 札幌学院大学(後援)

⑥ お問い合わせ

特別修学支援室

TEL: 011-706-7473 mail: udl@jimuhokudai.ac.jp

6

10月28日(火) 18:15~19:30 会場ID: H

### 北大×JICA連携企画 青年海外協力隊トークイベント ~持続可能な社会をつくる日本のボランティア~

**青**年海外協力隊として開発途上国の教育現場に携わってきたJICAボランティアが、自分の目で見て、耳で聞いた2年間についてお話しします。また、その経験を今後どのように日本の教育・社会に還元できるのか、開発教育の視点からみなさんと考えます。協力隊に興味のある方、教員を目指している方、ぜひご参加下さい!



① 国際本部 大会議室 ② 日本語 ③ 不要(直接会場へお越し下さい) ④ 独立行政法人 国際協力機構 北海道国際センター(札幌) ⑤ 北海道大学国際本部

⑥ お問い合わせ

JICA北海道(札幌)市民参加協力課 石崎 貴大

TEL: 011-866-8421 Fax: 011-866-8382 mail: ishizaki-takahiro@jica.go.jp

## 北海道／防災・減災リレーシンポジウム

—冬の防災・危機管理を考える—

- ❶ 冬の北海道では、暴風雪による交通障害・大規模停電の他、地震や火山災害の被害拡大も懸念されます。住民の暮らしや経済活動の安全を確保するため、大学・行政・マスメディアが連携し、地域の特性に合った防災・減災対策と市民教育を進めることが欠かせません。本企画は、北見・室蘭とのリレー方式のシンポジウムにより、総合的な討論を行います。また、10月28日～10月30日は学術交流会館1Fホールにて、災害対応に関するポスター展(入場無料)も開催します。ぜひお立ち寄りください。



- ❷ 学術交流会館 大講堂 ❸ 日本語 ❹ 必要(申込サイトにて受付)  
❺ 北海道大学公共政策大学院

## ❸ お問い合わせ

公共政策大学院 田中みどり

TEL&amp;Fax: 011-706-4723 mail: midorit@hops.hokudai.ac.jp

第9回応用倫理国際会議  
「安全、サステナビリティ、人性の涵養」

## 特別講演会「サステナビリティの倫理」

- ❶ いま、サステナビリティの考えが大事であることは自明のこととして受け止められています。しかし、どうして大事なのか、その理由を考えることもまた重要です。11月2日の特別講演会では、環境倫理ならびにサステナビリティ倫理の第一人者であるニューヨーク大学デール・ジェミソン教授をお招きして、市民・学生と一緒に思索します。先んじてより学術的な内容として11月1日から行われる国際会議では「気候変動に対する道徳義務」と題した同教授による基調講演とともに、世界的に活躍する研究者が最新の研究成果を報告します。



## プログラム

## 第9回応用倫理国際会議

|                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 11/1(土)            | 基調講演: 16:30～          |
| 11/2(日)            | 10:00～12:30 (9:30開場)  |
| 特別講演会「サステナビリティの倫理」 |                       |
| 11/2(日)            | 16:30～18:30 (16:00開場) |

※全日程を通し英語での講演となります。

- ❷ 人文・社会科学教育棟(W棟) ❸ 英語(通訳なし) ❹ 不要(直接会場へお越し下さい) ❺ 北海道大学文学研究科応用倫理研究教育センター

## ❸ お問い合わせ

文学研究科応用倫理研究教育センター 西川深雪

TEL: 011-706-4088

## 協定校企画 フィンランド - 日本 ジョイントシンポジウム

- ❶ オープニングセッションでは、ラップランド大学(フィンランド)、オウル大学(同)、北海道大学、札幌市立大学の代表者が、相互交流の充実と更なる発展を目指して、発表・討論を行います。分科会では「サービス・デザイン」「高齢化社会」「コミュニティ・プランニング」等を切り口に、最新の研究成果を共有し、今後の共同研究・共同教育の可能性について議論します。
- ❷ 海外開催(フィンランド ラップランド大学) ❸ 英語(通訳なし) ❹ 参加希望者はお問合せ下さい ❺ ラップランド大学、オウル大学、北海道大学、札幌市立大学
- ❸ 北海道大学国際本部国際支援課 TEL: 011-706-8029 Fax: 011-706-8037

## GiFT -Global issues Forum for Tomorrow-

- ❶ 持続可能な社会の実現に挑んでいる研究者5人のプレゼンテーションをインターネットで見て、英語と日本語で議論するインターネット・フォーラムです。世界中の高校生と大学生に向けた、「一緒に世界の重要課題に挑もう!」との熱い呼びかけに、Facebook ❷ Facebook, Ustream等を通じて参加かTwitterで応答してください。 ❸ 日本語・英語(通訳なし) ❹ 北海道大学

GiFTの情報を網羅したポータルサイトはこちら!  
<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/gift/>

## ❸ お問い合わせ

サステナビリティ・ウィーク事務局

TEL: 011-706-8031 mail: sw1@oia.hokudai.ac.jp

## 第5回 サステナブル・キャンパス・コンテスト

—サステナブルな明日への架け橋—

- ❶ 北 大を世界一サステナブルにするためのプロジェクト・コンテストです。今年は「自然」なキャンパスをテーマに、教育をし、教育を受ける場である大学が本来あるべき「自然な」姿や、大学生活を改善できるアイデアを、北大生、他大生、市民から広く募集します。最優秀賞の提案は、学生環境団体SCSDの協力のもと実現へと動き出します。

参加プロジェクト募集中!  
詳しくはSCSD公式サイトまで  
URL: <http://scsdhome.web.fc2.com/>

- ❷ 学術交流会館 第一会議室 ❸ 日本語 ❹ 不要(直接会場へお越し下さい)  
❺ SCSD(The Student Council for Sustainable Development in Hokkaido University)  
❻ 北海道大学サステナブルキャンパス推進本部

## ❸ お問い合わせ

SCSD 小山田伸明

TEL: 090-1201-7773 mail: scsdmail@gmail.com

国際シンポジウム  
環境と健康と科学コミュニケーション

- ❶ 科学の発展は環境や倫理上での新たな問題を生む可能性を常に持っています。この危険性を社会全体で認識し、対応していくには、科学技術について誰もが理解を深められる手段の確立が不可欠です。本企画では、環境変化から来る健康への影響を題材に、科学技術コミュニケーションにおける課題について、諸外国での事例も交え、討論します。

## 予定プログラム

## 第一部：講演

- 三上直之(北海道大学)  
「科学コミュニケーションとは」  
Jong Han Leem(仁荷大学校)  
「韓国の研究におけるコミュニケーション」  
伊藤佐智子(北海道大学)  
「北海道出生コホートにおける参加者コミュニケーション」  
Sharon Hanley(北海道大学)  
「英・豪のHPVワクチンリスクコミュニケーション」  
大島寿美子(北星学園大学)  
「研究者と市民をどうつなげるか」

## 第二部：パネルディスカッション

- ❷ 学術交流会館 小講堂 ❸ 日本語・英語(同時通訳あり) ❹ 必要(申込サイトにて受付)  
❺ 北海道大学環境健康科学研究教育センター  
❻ 保健科学研究所、医学研究科、教育学研究科、高等教育推進機構、札幌市(後援)、札幌市教育委員会(後援)、札幌市保健所(後援)

## ❸ お問い合わせ

環境健康科学研究教育センター 荒木

TEL: 011-706-4746 Fax: 011-706-4725 mail: araki@cehs.hokudai.ac.jp

## サステナブルキャンパス国際シンポジウム2014

サステナブルキャンパス構築のための思想と実践—大学にとって「地域」とは—

**a 北** 大にとっての地域、また地域にとっての北大とは何かを考え、なぜ今、サステナブルキャンパスの構築が必要なのかを探ります。人材を育む場として、大学は地域の中でどのような役割を果たすべきなのか。諸外国がサステナブルキャンパスの文脈の中で地域連携をどう位置づけているのか。思想的・実践的課題について講演を行ない、議論します。

**b** 学術交流会館 大講堂 **c** 日本語・英語(同時通訳あり) **d** 必要(申込サイトにて受付) **e** 北海道大学サステナブルキャンパス推進本部

お問い合わせ

サステナブルキャンパス推進本部

TEL: 011-706-3660 Fax: 011-706-4884 mail: osc@osc.hokudai.ac.jp

## 基調講演

- 京都大学経済学研究科 教授 植田 和弘
- ルクセンブルグ大学 サステナブルデベロップメントセンター長 アリアネ・ケニッグ

## プログラム

|        |             |
|--------|-------------|
| 12:30  | 受付          |
| 13:00~ | 開会挨拶        |
| 13:30~ | 基調講演 (各40分) |
| 14:50~ | 質疑応答        |
| 15:25~ | パネルディスカッション |
| 17:40  | 閉会挨拶        |

## 日露共同で行う教育プログラム開発プロジェクト

～極東・北極圏における持続的発展を未来へつなぐ～

**a** 極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する人材を育成すべく、数十年の共同研究実績を有する北海道大学とロシアの大学が協力して教育プログラムを開発します。環境評価、文化的多様性、土壌と生産、地域資源開発、防災管理に係る文理融合プログラムについて議論します。

**b** フロンティア応用科学研究棟 レクチャーホール **c** 日本語・ロシア語 **d** 必要(申込サイトにて受付) **e** RJE3 コンソーシアム **f** 北海道大学・北海道(後援) 札幌市(後援) **g** 北海道大学国際本部 サステナビリティ・ウィーク事務局 TEL: 011-706-8031 mail: rje3@oia.hokudai.ac.jp

## 先住民文化遺産とツーリズム

—文化的景観と先住民遺産をめぐる諸問題—

**a 先** 住民社会における景観利用のあり方を、世界各地の事例を参照しながら論じます。昨今、自然環境を積極的に利用して築かれた先住民文化遺産の研究が進んでいます。文化的景観をキーワードに、こうした文化遺産の特質、その有効的な管理方法、教育プログラムによる次世代への継承について検討します。

**b** 学術交流会館 小講堂 **c** 日本語・英語(逐次通訳あり) **d** 不要(直接会場へお越し下さい) **e** 北海道大学アイヌ・先住民研究センター **f** 北海道大学観光学高等研究センター

お問い合わせ

アイヌ・先住民研究センター 岡田真弓

TEL: 011-706-2317 Fax: 011-706-2859 mail: m-okada@let.hokudai.ac.jp

## 基調講演 12月20日(土) 午後から

- ウプサラ大学 考古学部 教授 ニール・プライス

## 報告 12月21日(日) 全日

- アバディーン大学 考古学部 上級講師 リック・ネヒト ジェフ・オリバー
- ワシントン大学 バーク博物館・人類学部 准教授 スヴェン・ハーガンソン
- ウプサラ大学 考古学部 講師 カール＝ゴスタ・オジャラ



## 調和を見いだす

自然の恩恵を意識しつつ、  
環境を損なわずに暮らす道を模索します。

## 時計台サロン 農学部にてみよう

## 北海道の絶滅危惧種を保護する試み

**a** 市民の皆様は北大農学部の研究を広く知っていただき、一緒に考えることを目的とした市民公開セミナーです。今回の話題は、北海道に固有の動植物の種類が減少し、絶滅危惧種が増えている現状とその保護について取り上げます。札幌農学校と呼ばれたかつての北海道大学の雰囲気色濃く残した札幌時計台2階ホールで開催します。

**b** 札幌時計台2階ホール **c** 日本語 **d** 不要(直接会場へお越し下さい) **e** 北海道大学農学研究院 **f** 北海道新聞社 札幌国際プラザ(後援) 札幌農学同窓会(後援) **g** 農学事務局 庶務担当 TEL: 011-706-2420

## 市民公開シンポジウム 都市でも農的生活

—植物の面白さと豊かな生活—

**a** 生活に潤いを与える植物栽培や家庭菜園を取り入れた「農的生活」への注目が都市圏でも高まりつつあります。植物同士が生育を制御し合う興味深い現象や、札幌市や海外都市の農的テーマパークの事例紹介、都市農業におけるユニークな多角経営(6次化)の事例紹介を行うとともに農的生活の可能性について議論します。

**b** 学術交流会館 小講堂 **c** 日本語 **d** 不要(直接会場へお越し下さい) **e** 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター **f** 北海道園芸研究談話会 **g** 北方生物圏フィールド科学センター 荒木肇 TEL: 011-706-3645

すこやかに  
人間らしく生きる

ひとり一人が身体的、精神的、社会的に良好な状態  
(Well-being)で質の高い生活(Quality of Life)を送る  
ことのできるコミュニティをつくります。

## CLARK THEATER 2014

**a** 文化的に優れた映画の鑑賞を介し、大学と学生と市民が巡り会うことのできる映画館を期間限定で開催します。大学という学びの場で感動や楽しみを共有し、私たち全員にとって安心できる未来について、共に考えます。長辺・短辺・特集など、今年のテーマに合わせて多数取り揃えています。(一部有料のプログラムがあります。)

**b** クラーク会館 **c** 日本語 **d** 不要(直接会場へお越し下さい) **e** 北大映画館プロジェクト **f** 北大映画館プロジェクト mail: info@clarktheater.jp

## 【凡例】

0



## 行事名

- a** 概要 **b** 会場 **c** 言語
- d** 申し込み **e** 主催 **f** 共催
- g** 問い合わせ先

日時

会場ID:

このマークが付いている行事は、WEBサイトから参加の申し込みができます。

特に記載のない限り参加料等はすべて無料です。

会場IDは裏面のMAPと対応しています。

バックの色は各行事のカテゴリーを表しています。

持続可能な  
開発のための教育すこやかに  
人間らしく生きる調和を  
見いだす協力ネットワ  
ークを広げる

**20** 11月4日(火) 9:30~17:00 会場ID: **A**

**RECCA北海道  
北海道における気候変動とその適応ワークショップ**

**a** 文部科学省気候変動適応研究推進プログラム(RECCA)北海道は、積雪量等で水資源面での大きな変化が予想される道内の気候に適応してゆくための研究を5年間実施してきました。本企画では、研究者・実務者・市民の対話と交流を通じ、気候変動への適応を議論します。

**b** 学術交流会館 小講堂 **c** 日本語 **d** 不要(直接会場へお越し下さい)

**e** 北海道大学工学研究院 **f** 公益財団法人 日本気象学会 北海道支部(後援)

**g** 工学研究院 山田朋人 TEL&Fax: 011-706-6188

**21** 11月8日(土) 13:00~15:30 会場ID: **A**

**安全でサステナブルな社会の土台をつくるには?  
— 社会基盤学からの多様な視点 —**

**a** 社会基盤学とは、気温の上昇、自然災害の激化、枯渇の一途をたどる天然資源、水や空気の汚染などの自然環境変化を予測し、安全、安心、健康に人々が暮らせる社会を構築するための学問です。本講座では専門の研究者が本学間を紹介し、現代における意義、重要性を分かりやすく解説します。

**b** 学術交流会館 小講堂 **c** 日本語 **d** 不要(直接会場へお越し下さい)

**e** 北海道大学工学部環境社会工学科社会基盤学コース・国土政策学コース

**g** 工学研究院 猿渡亜由未 TEL: 011-706-6183 mail: saruwata@eng.hokudai.ac.jp

**22** Web 日時・会場未定

**新しい農業生産のやり方 —エコロジー農業の日仏交流—**

**a** 気候変動を始めとする地球環境の変化は、農業のあり方に決定的な変化をもたらしています。2015年にパリで第21回国連気候変動枠組条約締結国会議が開催されるのに先立ち、地域の特性を活かし、環境に十分な配慮をした農業生産システムとはどのようなものか、どのように実現していけるかを考えます。

**b** 未定 **c** 日本語・フランス語(同時通訳あり) **d** 申込者を優先(申込サイトにて受付)

**e** 札幌日仏協会/札幌アリアンス・フランセーズ、在日フランス大使館、アンステイチュ・フランセ日本

**f** 北海道大学農学研究院 **g** 札幌アリアンス・フランセーズ 平岡智成 TEL: 011-261-2771 mail: bureau@afsapporo.jp

**23** Web 10月19日(日) 9:30~12:30 会場ID: **F**

**食事はどのようにして楽しいの?**

**a** 歯から得られる堅さや弾力などの食感や、咀嚼する神経と筋肉の相互作用、さらには食事時の談笑や審美性など、「食事を楽しくする要素」は、実にさまざまです。世界的な実績のある研究者を招き、食事がどのようにして楽しいのかを討論し、私たちの食事をより楽しくする秘訣などの紹介も行います。

**b** 歯学部講堂 **c** 日本語・英語(同時通訳あり) **d** 必要(申込サイトにて受付)

**e** 北海道大学歯学研究科 **g** 歯学研究科 有馬太郎 TEL: 011-706-4275 Fax: 011-706-4276 mail: tar@den.hokudai.ac.jp

**24** 11月3日(月) 13:00~16:00 会場ID: **E**

**ようこそ! ヘルスサイエンスの世界へ**

**a** 3名の研究者が保健科学の研究を分かりやすく解説します。講演は環境変化の健康への影響(特に世代をこえた影響について)、ストレス社会をしなやかに生きるための「光」についての知識、そしてパーキンソン病のリハビリテーションと、私たちにとって身近な3つのトピックを取り上げます。

**b** 保健科学研究院 E棟1階 多目的室 **c** 日本語

**d** 必要(下記問合せ先にて受付、10/24(金)まで) **e** 北海道大学保健科学研究院

**g** 医学系事務部 保健科学研究院事務課 TEL: 011-706-3315 Fax: 011-706-4916 mail: shomu@hs.hokudai.ac.jp

**協力ネットワーク  
を広げる**

新たな視点を得て解決を導くため、  
国境や学問分野を越えた協力をさらに進めます。

**25** Web 9月28日(日) 10:00~17:00 会場ID: **J**

**日中記者交換協定50年 日本報道、中国報道の半世紀**

**a** 50年前、日本と中国の記者が特派員として双方の国に派遣されました。東京五輪の開催に沸く年でした。日中の記者の眼に、それぞれの国はどのように映り、いかに報じたのでしょうか。両国関係を報道という側面から振り返り、これからの日中関係を考えます。

**b** 情報教育館3F **c** 日本語 **d** 申込者を優先(申込サイトにて受付) **e** 北海道大学メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センター 法学研究科附属高等法政教育研究センター **f** 同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科 **g** メディア・コミュニケーション研究院 渡邊浩平 TEL: 011-706-5283 mail: koheiw@imc.hokudai.ac.jp

**26** 9月30日(火) 12:50~18:50 会場ID: **K**

**CRC国際シンポジウム 生体分子をモチーフとした機能性分子の創製と応用**

**a** 生体分子に関連する化学研究は、近年さらに重要な意義を持つようになってきました。今回、生体分子をキーワードとして各分野の6人のエキスパートを世界から招き、シンポジウムを開催します。分野間での意見交換を行い、生体分子をめぐる研究開発の未来を議論します。

**b** 創成科学研究棟4Fセミナールーム **c** 英語(通訳なし) **d** 申込者を優先(下記問合せ先にて受付) **e** 北海道大学触媒化学研究センター **f** 日本化学会北海道支部、高分子学会北海道支部、有機合成化学協会北海道支部、北海道大学フロンティア化学教育研究センター **g** 小山靖人 TEL: 011-706-9157 mail: yasuhito.koyama@cat.hokudai.ac.jp

**27** 11月6日(木) 13:30~17:00 会場ID: **A**

**経済学研究科 REBN シンポジウム —北海道における新しい「ものづくり」の可能性を考える—**

**a** 北海道だからこそ可能なものづくりとはどのようなものなのでしょうか。地域や産業の特性をふまえ、農業(1次産業全般)×IT(ビッグデータの活用も含む)×メイカームーブメント(センサーやデバイスを3Dプリンターで)というコラボレーションによって、北海道の製造業のあり方を革命的に変えてゆく可能性と、今後の活路を探ります。

**b** 学術交流会館 大講堂 **c** 日本語 **d** 不要(直接会場へお越し下さい) **e** 北海道大学経済学研究科地域経済経営ネットワーク研究センター **f** 日本生産管理学会北海道東北支部、札幌コワーキング・サポーターズ(後援) **g** 経済学研究科 塚田 久美子 TEL&Fax: 011-706-4066 mail: sacade@econ.hokudai.ac.jp

**28** 11月8日(土) 9:30~16:30 会場ID: **M**

**JICA PARTNER 国際協力人材セミナー in 北海道  
～国際協力の場で働きたい方、専門性を活かしたい方へ～**

**a** JICAが運営する国際協力キャリア総合情報サイトPARTNERにて情報を提供しているさまざまな国際協力実施機関が会場に集結します。大学生・大学院生や社会人等を対象に現場の生の声や実態、仕事のやりがい、業界動向の解説等を行ない、1日で国際協力業界の様々な仕事・キャリアについて知ることができます。

**b** 北海道立道民活動センター(かでる2.7) **c** 日本語 **d** 必要(参加申込URL: <http://bit.ly/1ppppj5>) 受付期間: 10/7~11/7 **e** 国際協力機構(JICA) **f** 北海道大学国際本部 **g** PARTNER事務局 TEL: 03-5226-6785 Fax: 03-5226-6316 mail: jicahrp@jica.go.jp

**29** 11月18日(火) 15:30~17:30 会場ID: **G**

**北大アフリカ研究会シンポ アフリカで活躍する北大の研究者たちII  
～アフリカに展開する北大研究ネットワーク～**

**a** 目覚ましい発展の中にありながら、いまだ貧困、政治、環境をはじめ様々な問題を抱えているアフリカ諸国。この地における持続的な発展を議論するべく、さまざまな専門からアフリカの課題に取り組む北大研究者によるネットワーク、北大アフリカ研究会(HURNAC)のメンバーが多様な取組みを紹介します。

**b** 工学部A101会議室 **c** 日本語 **d** 不要(直接会場へお越し下さい)

**e** 北海道大学アフリカ研究会 **g** 工学研究院 牛島健 TEL&Fax: 011-706-6273 mail: uken@eng.hokudai.ac.jp

サステナビリティ・ウィーク WEBサイト

<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp>

参加  
申込みは  
こちら



行事  
一覧は  
こちら



イベントスケジュール

● 主な対象

| 日 程                  |    | 行 事 名                                                                                                         | 共催・後援                                                                                    | 専門家 | 市 民 | 大学生<br>院 生 | 高校生 | その他 | 19                                                                                  | 4                                                                                     |
|----------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|------------|-----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月28日(日)             | 25 | 日中記者交換協定50年：日本報道、中国報道の半世紀<br>主催：メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センター                                             | 同志社大学大学院<br>グローバルスタディーズ研究科                                                               | ●   | ●   | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 9月30日(火)             | 26 | CRC国際シンポジウム：<br>生体分子をモチーフとした機能性分子の創製と応用<br>主催：触媒化学研究センター                                                      | 日本化学会北海道支部 /<br>高分子学会北海道支部 /<br>有機合成化学協会北海道支部 /<br>北海道大学フロンティア化学<br>教育研究センター             | ●   |     | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 10月8日(水)             | 2  | 専門家国際ネットワークを用いたサニテーション教育<br>主催：次世代都市代謝教育研究センター                                                                | 国際水環境学院(2IE) /<br>ザンビア大学水資源管理センター                                                        | ●   |     | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 10月8日(水)             | 3  | STAND UP TAKE ACTION in Hokudai<br>主催：附属図書館 / 国連寄託図書館                                                         | 北大マルシェ                                                                                   |     | ●   | ●          | ●   |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 10月16日(木)～10月19日(日)  | 19 | CLARK THEATER 2014<br>主催：北大映画館プロジェクト                                                                          |                                                                                          | ●   | ●   | ●          | ●   |     | 10/16                                                                               |                                                                                       |
| 10月19日(日)            | 23 | 食事はどうして楽しいの？<br>主催：歯学研究科                                                                                      |                                                                                          | ●   | ●   | ●          | ●   |     |  |                                                                                       |
| 10月20日(月)～11月3日(月・祝) | 4  | 学術成果のオープンアクセスとHUSCAP<br>主催：附属図書館                                                                              |                                                                                          | ●   | ●   | ●          | ●   |     | 10/19<br>まで                                                                         | 10/20                                                                                 |
| 10月25日(土)            | 1  | SW2014特別企画 第5回 ESD国際シンポジウム<br>—次世代のESD戦略— 主催：北海道大学                                                            |                                                                                          | ●   | ●   | ●          | ●   |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 10月26日(日)            | 5  | 障害をもつ大学生の就労を目指して<br>主催：特別修学支援室                                                                                | 北海道障がい学生支援ネットワ<br>ーク(仮称) / 札幌学院大学(後援)                                                    | ●   | ●   | ●          | ●   |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 10月28日(火)            | 6  | 北大×JICA連携企画：青年海外協力隊トークイベント<br>主催：独立行政法人 国際協力機構 北海道国際センター(札幌)                                                  | 国際本部                                                                                     |     | ●   | ●          | ●   |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 10月29日(水)            | 17 | 時計台サロン 農学部に聞いてみよう：<br>北海道の絶滅危惧種を保護する試み 主催：農学研究院                                                               | 北海道新聞社 / 札幌国際プラザ<br>(後援) / 札幌農学同窓会(後援)                                                   |     | ●   | ●          |     | ●   |                                                                                     |                                                                                       |
| 10月30日(木)            | 7  | 北海道／防災・減災リレーシンポジウム：冬の防災・危機管理を考える<br>主催：公共政策大学院                                                                |                                                                                          | ●   | ●   | ●          | ●   |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 10月31日(金)            | 18 | 市民公開シンポジウム：都市でも農的生活—植物の面白さと豊かな生活—<br>主催：北方生物圏フィールド科学センター                                                      | 北海道園芸研究談話会                                                                               | ●   | ●   | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 11月1日(土)～11月2日(日)    | 8  | 第9回応用倫理国際会議：安全、サステナビリティ、人性の涵養<br>主催：文学研究科応用倫理研究教育センター                                                         |                                                                                          | ●   |     | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 11月2日(日)             | 9  | 特別講演会：サステナビリティの倫理<br>主催：文学研究科応用倫理研究教育センター                                                                     |                                                                                          | ●   |     | ●          |     |     |                                                                                     |  |
| 11月3日(月・祝)           | 24 | ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ<br>主催：保健科学研究院                                                                               |                                                                                          |     | ●   | ●          | ●   |     | 11/3<br>まで                                                                          |                                                                                       |
| 11月4日(火)             | 20 | RECCA北海道 北海道における気候変動とその適応ワークショップ<br>主催：工学研究院                                                                  | 公益財団法人 日本気象学会<br>北海道支部(後援)                                                               | ●   | ●   | ●          | ●   |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 11月5日(水)～11月7日(金)    | 10 | 協定校企画 フィンランドー日本 ジョイントシンポジウム<br>主催：ラップランド大学、オウル大学、北海道大学、札幌市立大学                                                 |                                                                                          | ●   | ●   | ●          | ●   |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 11月6日(木)             | 27 | REBNシンポジウム：北海道における新しい「ものづくり」の可能性を<br>考える 主催：経済学研究科 地域経済経営ネットワーク研究センター                                         | 日本生産管理学会・北海道東北支部 /<br>札幌コワーキング・サポーターズ(後援)                                                | ●   | ●   | ●          |     | ●   |                                                                                     |                                                                                       |
| 11月8日(土)             | 11 | GiFT - Global issues Forum for Tomorrow -<br>主催：北海道大学                                                         |                                                                                          | ●   | ●   | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 11月8日(土)             | 28 | JICA PARTNER 国際協力人材セミナー in 北海道<br>主催：国際協力機構(JICA)                                                             | 国際本部                                                                                     | ●   | ●   | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 11月8日(土)             | 21 | 安全でサステナブルな社会の土台をつくるには？：社会基盤学からの多様な視点<br>主催：工学部 環境社会工学科 社会基盤学コース・国土政策学コース                                      |                                                                                          |     | ●   | ●          | ●   |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 11月9日(日)             | 12 | 第5回学生企画 サステナブル・キャンパス・コンテスト<br>主催：SCSD(The Student Council for Sustainable Development in Hokkaido University) | サステナブルキャンパス<br>推進本部                                                                      |     | ●   | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 11月17日(月)            | 13 | 国際シンポジウム 環境と健康と科学コミュニケーション<br>主催：環境健康科学研究教育センター                                                               | 保健科学研究院 / 医学研究科 /<br>教育学研究院 / 高等教育推進<br>機構 / 札幌市(後援) / 札幌市教<br>育委員会(後援) / 札幌市保健所<br>(後援) | ●   | ●   | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 11月18日(火)            | 29 | 北大アフリカ研究会シンポ：アフリカで活躍する北大の研究者たちII<br>主催：北海道大学アフリカ研究会                                                           |                                                                                          |     | ●   | ●          | ●   |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 11月25日(火)            | 14 | サステナブルキャンパス国際シンポジウム2014<br>主催：サステナブルキャンパス推進本部                                                                 |                                                                                          | ●   | ●   | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 12月19日(金)            | 15 | 日露共同で行う教育プログラム開発プロジェクト<br>主催：RJE3コンソーシアム国際運営委員会セントラル・オフィス                                                     | 北海道大学 / 北海道(後援) /<br>札幌市(後援)                                                             | ●   | ●   | ●          | ●   |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 12月20日(土)～12月21日(日)  | 16 | 先住民文化遺産とツーリズム：文化的景観と先住民遺産をめぐる諸問題<br>主催：アイヌ・先住民研究センター                                                          | 観光学高等研究センター                                                                              | ●   | ●   | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |
| 未定                   | 22 | 新しい農業生産のやり方：エコロジー農業の日仏交流<br>主催：札幌日仏協会/札幌アリアンス・フランスーズ、在日フランス大使館、アンスティチュ・フランス日本                                 | 農学研究院                                                                                    | ●   | ●   | ●          |     |     |                                                                                     |                                                                                       |

札幌キャンパスマップ



|                              |                    |
|------------------------------|--------------------|
| <b>A</b> 学術交流会館              |                    |
| 1 10/25[土]                   | 5 10/26[日]         |
| 7 10/30[木]                   | 18 10/31[金]        |
| 20 11/4[火]                   | 27 11/6[木]         |
| 21 11/8[土]                   | 12 11/9[日]         |
| 13 11/17[月]                  | 14 11/25[火]        |
| 16 12/20[土]~12/21[日]         |                    |
| <b>B</b> クラーク会館              |                    |
| 19 10/16[木]~10/19[日]         |                    |
| <b>C</b> 図書館本館               |                    |
| 3 10/8[水]                    | 4 10/20[月]~11/3[月] |
| <b>D</b> 人文・社会科学総合教育研究棟      |                    |
| 8 11/1[土]~11/2[日]            | 9 11/2[日]          |
| <b>E</b> 保健科学研究所             |                    |
| 24 11/3[月]                   |                    |
| <b>F</b> 歯学部                 |                    |
| 23 10/19[日]                  |                    |
| <b>G</b> 工学部                 |                    |
| 29 11/18[火]                  |                    |
| <b>H</b> 国際本部                |                    |
| 6 10/28[火]                   |                    |
| <b>I</b> フロンティア応用科学研究棟       |                    |
| 2 10/8[水]                    | 15 12/19[金]        |
| <b>J</b> 情報教育館               |                    |
| 25 9/28[日]                   |                    |
| <b>K</b> 創成科学研究棟             |                    |
| 26 9/30[火]                   |                    |
| <b>L</b> 札幌市時計台              |                    |
| 17 10/29[水]                  |                    |
| <b>M</b> 北海道立道民活動センター かでる2.7 |                    |
| 28 11/8[土]                   |                    |

サステナビリティ・ウィーク  
2014 事務局

北海道大学国際本部内

〒060-0815 北海道札幌市北区北15条西8丁目  
電話: 011-706-8031 FAX: 011-706-8036  
E-mail: sw1@oia.hokudai.ac.jp

■ 詳しい情報、最新の情報はウェブサイトで公開しています。

<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/>

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



2014年8月発行

## サステナビリティ・ウィーク 2014 を振り返って



サステナビリティ・ウィーク 2014 実行委員長  
国際担当理事・副学長 上田 一郎

G8北海道洞爺湖サミット2008の開催を見据え 2007年に開始した「北海道大学サステナビリティ・ウィーク」は今年で第8回を迎えました。今年は10月25日(土)から11月9日(日)の16日間に19企画、この前後数週間に開催された13企画を合わせて合計32企画を実施しました。

### 本学のこれまでの歩み

本学は2005年に北海道大学「持続可能な開発」国際戦略を策定し、「持続可能な開発 (Sustainable Development: SD)」をテーマに掲げて各種の取り組みを行ってきました。2005年は「国連持続可能な開発のための教育 (Education for Sustainable Development: ESD) の10年」が開始された年です。国際的な動きに呼応する形で本学では各学問分野において、または分野横断的にSDもしくはESDが取り組まれてきました。その歩みの中で、前述のG8北海道洞爺湖サミットが開催されるのと並行して、本学が中心的な役割を果たしてG8大学サミットを開催し、世界の主要な大学と共に「札幌サステナビリティ宣言」を2008年に採択しました。その宣言をひとつずつ具現化させながら本学は今日に至っています。

### 開催テーマ「持続可能な開発のための教育」

「国連ESDの10年」が最終年を迎える2014年には、名古屋市で「ESDユネスコ世界会議」が11月10-12日に開催されたのをはじめ、世界の各地で数多くの教育機関がこれまでのESDの取り組みを振り返り、将来計画について議論をしました。本学においても、サステナビリティ・ウィーク 2014のテーマをESDと定め、様々な観点からSDのための教育について、学生、市民、教育者、地域、大学、民間団体が議論をしました。

### 教育の未来を考える多角的な議論の実施

テーマに即して開催された16の企画は実に多様です。

「ESD国際シンポジウム-次世代のESD戦略」「専門家国際ネットワークを用いたサニテーション教育」「協定校企画 フィンランドー日本 ジョイントシンポジウム」「日露共同で行なう教育プログラム開発

プロジェクト」では、中国、韓国、タイ、アフリカ、北欧、ロシアの大学との協働教育の在り方について議論しました。

「サステナブルキャンパス国際シンポジウム2014」では、大学と地域の連携について議論が行われ、「第5回サステナブル・キャンパス・コンテスト」では学生の視点から教育を提供する／受ける大学という環境に対し、改善アイデアが提案されました。

また、障害を持つ人が大学で学び、社会で働くためには教育や大学がどうあるべきかを議論した「障害をもつ大学生の就労を目指して」、環境倫理の観点から教育のあり方を議論した「第9回応用倫理国際会議：安全、サステナビリティ、人性の涵養」、文化的景観を守り継承するための教育プログラムを検討した「先住民文化遺産とツーリズム」など、持続可能な社会の創造に向けた教育のあり方を考える機会が提供されました。

## ウェブ・メディアを通じた世界同時議論

サステナビリティ・ウィーク事務局は毎年、新しい事にチャレンジしてきました。今年はインターネット・フォーラム「GiFT: Global issues Forum for Tomorrow」においてUstreamやYoutubeによる動画配信のみならず、ソーシャル・ネットワーク・システム(SNS)の一つであるFacebookを活用して、世界中の若者が動画を観ながらFacebook上で議論する機会を提供したところ、世界各地から253名もの参加を得ました。

世界から人が集まるまたは集めることを考えたときに北海道は決して地理的に優位な場所ではありません。だからこそ、このようなウェブ・メディアを活用して議論の場を世界へ提供することは、遠隔地に住む10代の学生や仕事に忙しい社会人が議論に加わることを可能にし、サステナビリティ・ウィークをいっそう「世界に開かれた議論のプラットフォーム」へと機能させることに繋がります。今後、他の企画でも積極的にウェブ・メディアを活用していくことが期待されます。

## 2015年に向けて

第9回のサステナビリティ・ウィークは、2015年10月24日(土)から11月8日(日)を中心に開催します。「国連ESDの10年」は2014年で終了しますが、2015年9月の国連総会で「持続可能な開発目標(Sustainability Development Goals)」が採択される予定であり、本目標の達成に向けて世界中が取り組んでいくことになります。

北海道大学も引き続きサステナビリティ・ウィークを開催することを通じて、SDGsへ貢献してゆく所存です。皆様のご理解とご参加をお願い申し上げます。